

2月11日 ヨハネによる福音書6章1～15節

説教題：「幸せにするための魔法」

今日の個所では、イエス様が5000人の人々にパンと魚をいきわたらせるという奇跡が起きています。ここで行われた奇跡が、「どのようにして起きた奇跡なのか」について、いくつか解釈が分かれています。まずは素直に「イエス様が奇跡を起こすことによって、パンを裂いても減らなかった」又は「イエス様の力でパンが増えた」という説です。まさしく魔法のような力をイエス様は人々に示した、ということです。

しかしそうではなくて、魔法のようなことは何も起きていなかったのではないか、という解釈もあるようです。例えばアンデレが連れてきた少年のように、食べ物を持っている人たちがまだ何人もいて、イエス様が少ない食べ物を人々に配る姿を見て「ぜひ私のパンも使ってください」「私の魚も誰かにあげてください」と差し出した、ということです。

普通の人であれば、お腹が空いているのですから「自分の事さえよければいい」と考えてしまうところを、イエス様は人々の心を動かして「どうぞ私のパンも使ってください」と捧げる姿勢に変えました。そう考えれば、そのように人々の心を動かしたという事実、神様の力の働きを見ることができるといえます。そう考えるのであれば、ここで起きた奇跡とは5000人のために食べ物が増えたことではなく、「5000人も心の悔い改め、清められた」そのこと自体に現れているのかもしれない。

私たちが幸せになるためには、自分一人だけではなく、隣人の存在が必要不可欠です。心理学的には、私たちは「自分が誰かの役に立っている」と感じている時、そしてその自覚によって「自分はここにいていい」と感じている時に、幸せだと感じるそうです。

今日の個所でイエス様によって満たされた5000人は、ただおなかを満たされただけではなく、「この隣人のために私はパンを差し出すことができた」という小さな喜びから、「イエス様のために働くことができた」「神様の役に立った」という大きな喜びまで、その幸福を体験しました。そして、イエス様から語られる神様の御心によって、自分が神様に愛されていて、ここにいていいのだということを教えられました。その幸福の中で、人々はイエス様への信仰へと導かれてゆきました。

私たちにも同様の言葉が、神様からかけられています。「あなたはここにいていい」「あなたは私のために生きてくれている」「いつもありがとう」と、他ならない神様が私たちのことを受け止めてくれている、喜んでくれている、認めてくれている、それが私たちの神様なのです。そして、私たちもまた、隣人に対して、「いつもありがとう」という声をかけるだけで、あなたはここにいていいのだ、あなたがいて私は嬉しいのだ、という言葉伝えるだけで誰かを幸せにすることができるのです。まさにそれは魔法のような言葉で、私たちは隣人の幸せという、神様の業を実現していくことができるのです。

私たちは、神様に愛されて、神様に感謝されて、神様に喜ばれながら生きることが出来ます。そして、その私たちもまた誰かを幸せにできるのだと背中を押されています。そのすべての恵みを受けとめながら、この一週間の歩みを、これからの歩みを進めていきましょう。

今日の説教箇所：ヨハネによる福音書6章1～15節

・1:その後、イエスはガリラヤ湖、すなわちティベリアス湖の向こう岸に渡られた。大勢の群衆が後を追った。イエスが病人たちになさったしるしを見たからである。イエスは山に登り、弟子たちと一緒にそこにお座りになった。ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか」と言われたが、こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしているか知っておられたのである。フィリポは、「めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう」と答えた。弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。」イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。さて、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。人々が満腹したとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、残ったパンの屑を集めなさい」と言われた。集めると、人々が五つの大麦パンを食べて、なお残ったパンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。そこで、人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に来られる預言者である」と言った。イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、ひとりでもた山に退かれた。